

## 日本共産党千葉市議団コロナ対策改善状況（検査・保健所）

	要望事項	進展・改善事項
検査 1	市の電話相談窓口を24時間対応に切り換え体制を強化すること。	電話相談窓口時間が午後5時から午後7時に延長。回線も2回線から6回線に増設して対応強化。
検査 2	PCR検査を帰国者・接触者外来以外でも受けられる体制を一刻も早く確立すること。	接触者外来医療機関でドライブスルー導入。ドライブスルー検査の継続。
検査 3	妊婦と生まれてくる子どもを守るために、産科医でのクラスターを防止するためにも、出産前の妊婦に対してPCR検査が受けられる支援に取組むこと。	不安を抱える妊婦に対し、本人の希望により分娩前にPCR等検査を受ける場合の検査費用を助成。
検査 4	検査体制拡充策として、千葉大学への検査委託、PCR唾液検査、抗体・抗原検査等の導入、またより身近な医療機関で受けられるよう財政支援含め対策を図ること。	千葉大学病院での検査実施。検査可能な8帰国者接触者外来から民間医療機関52施設まで検査拡充。医療保険適用のPCR検査及び抗原検査に係る患者自己負担分を公費で負担。PCR検査で医師が感染し、診療所を休止した場合に、診療所に対し、再開のための支援金100万円支給。
検査 5	保健所と環境保健研究所への予算及び人員体制の拡充を図ること。	電話相談窓口の看護師を4名、データ入力4名、検体・患者搬送委託3名を追加で外部委託で効率化を図る。
検査 6	医療や介護従事者、教職員、保育士や子どもルーム指導員、接待を伴う飲食業従業員など感染リスクが高い人たちに、無症状でもPCR検査が受けられる体制を整備すること。	接待を伴う飲食業従業員は無症状でもPCR検査等を実施。